

3.11

危うい真実をあなたは目撃する

太陽の蓋

北村有起哉

袴田吉彦

中村ゆり

郭智博

大西信満

神尾佑

青山草太

菅原大吉

三田村邦彦

菅田俊 井之上隆志 宮地雅子

菜葉菜

阿南健治

伊吹剛

製作 橋民義 ■プロデューサー 大塚肇 ■音楽 ミッキー吉野 ■脚本 長谷川隆 ■アシエイトプロデューサー 大野拓夫 ■ラインプロデューサー 加藤賢治

撮影 小宮由紀夫 ■美術 及川一 ■照明 林大樹 ■録音 良井真一 ■監音 小宮元 ■編集 小林由加子 ■VFXプロデューサー 平典史 ■装飾 太田哲 ■衣裳 高橋英治

ヘアメイク 金森恵 ■スクリーンライター 黒河内美佳 ■助監督 廣田啓 ■制作担当 高見明夫 ■監督 佐藤太

制作 プロダクション アイニックス ■製作「太陽の蓋」プロジェクト ■配給 宣伝 太素 ■宣伝協力 ケイアイ・エス

110分 / カラー 作中 / DCP / Vista Size / surround ■「太陽の蓋」プロジェクト / Teichiku Taniyoshi



www.taiyounofuta.com

期 日：2017年 **2月13日** (月) 午後6時～ (開場午後5時30分～)

会 場：難波別院同朋会館 (南御堂) 1階 講堂 入場料：500円 (全席自由席)

主催 大阪教区 原発に依存しない社会を目指す委員会

「史上最悪の危機」を迎えた日、 官邸内で何が起きていたのか。 当時の閣僚たちが実名で登場する究極の ジャーナリストイック・エンターテインメント

記者
クラブ



夫婦

東京



新聞記者・鍋島

事故発生後、情報集めに奔走するあまり妻と連絡を取ることができない。真実を知りながら記事を書けない葛藤を抱える。

取材



官房副長官秘書官・坂下



内閣総理大臣・菅直人



首相補佐官・寺田学



内閣副官房長官
福山哲郎
内閣官房長官
枝野幸男

官邸



福島



修一

イチF(福島第一原発)で働く。使命感から事故直後も幼馴染の建斗とともにイチFで作業するが…

福島原発事故から5年。関係者による著書、様々な報道番組やドキュメンタリー、調書の公開など…当時の状況が解明されたかのように見えて、人々の記憶は早くも風化され真相が明らかにされことなく原発事故問題の幕が引かれようとしている。

本作品では数多くの報告書や資料の分析をすると共に、事故対応当事者であった政治家や現役新聞記者、被災地である福島での直接取材を敢行。5年という年月が経った今だからこそ伝えられる、「あの日」をセンセーショナルにあぶり出す。

真実に肉薄するポリティカルドラマ

東日本大震災～福島原発事故が起きた3月11日からの5日間。原発事故に迫る新聞記者をキーパーソンとし、当時菅直人政権であった官邸内、さらに東京や福島で暮らす市井の人の姿を対比させて描く本作。

菅内閣の政治家は全て実名で登場させ、原発事故の経過や対応を事実に沿って丹念に追う。情報が錯綜する中、極限の緊張状態にあった人間ドラマを描き、官邸内部のリアルな様子を浮かび上がらせる。原発と共に生きて来た福島の人々の葛藤、事故発生によって翻弄されるマスコミや東京に暮らす人々を切り取ることで原発と日本人の姿を俯瞰的に捉えている。情報収集に奔走する記者・鍋島役には数々の映画・ドラマ・舞台で活躍し日本映画界では欠かせない存在で映画初主演の北村有起哉が、菅直人役にはベテラン俳優三田村邦彦がそれぞれ扮し作品に重厚感をもたらしている。



期 日：2017年2月13日(月) 午後6時上映

入場料：500円(全席自由席)

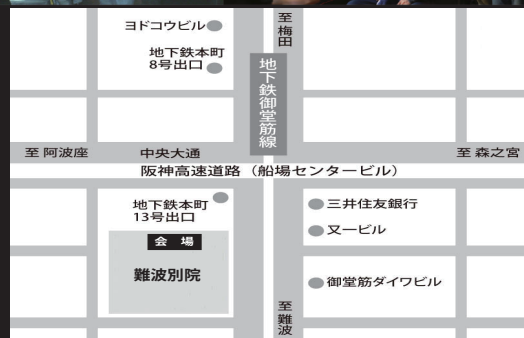
※当日券をお持ちの方はご持参ください。

※前売り券は大阪教務所にて販売しております。

会 場：難波別院同朋会館講堂(南御堂)

本上映会のお問合せ 真宗大谷派大阪教務所

TEL 06-6251-4720 E-mail:osaka@higashihonganji.or.jp



大阪市営地下鉄御堂筋線
「本町」駅 13号出口から南へ徒歩1分
※ご来場には公共交通機関をお使いください。